

ニュースリリース

「新たな放線菌分離源へ向けた研究開始のお知らせ - 富山県立大学・五十嵐助教授との共同研究 - 」

株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ（東京都品川区、以下 NGS）は富山県立大学・工学部生物工学科・五十嵐康弘助教授（以下「五十嵐助教授」という）と植物および海洋資源からの放線菌分離技術の移転に関し、今般合意に達しましたのでお知らせ致します。

当社は、マレーシア国立森林研究所（FRIM）、サラワク州バイオダイバーシティセンター（SBC）、ペラ州 BioPerak 社との間で共同研究契約を締結しており、マレーシアに生息する生物資源を商業化のための探索研究を合法的に行うことが出来る権利を有しております。かねてより、主に土壌由来の微生物の探索研究を行い、有用物質発見のための研究基盤の充実に努めて参りました。

一方、富山県立大・五十嵐助教授は、新規生理活性物質を生産する微生物探索と微生物二次代謝産物からの医農薬リード分子の探索を研究の第一人者であり、土壌はもとより、植物、海洋などの多様な天然資源に由来する微生物が生産する生理活性物質の分離、精製、構造解析、作用機作解析に関する研究を行っておられます。既に、複数の新規生理活性物質を微生物から発見されているご実績を持たれております。

当社は、既報の千葉大学との真菌を利用した探索研究の連携に続き、今回の提携により植物内生菌や、海洋生物資源からの微生物分離培養が可能となり、有用物質発見に向けた当社の研究探索が、より充実した広がりを見せられることになりました。このような探索研究が生物資源国に立脚する当社マレーシア研究所で行えることは、ベンチャー企業としては非常に意義の大きいこととあります。

平成18年12月8日

株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ
代表取締役社長 清田圭一